

令和5年度を振り返って

スケート専門部

はじめに、京都府中学校体育連盟の先生方、ならびに各中学校の顧問の先生、コーチ、そして、関係方々のご協力を賜り、感謝申し上げます。また、京都府総体の開催に際しまして、京都府高体連スケート専門部、京都府スケート連盟フィギュア部の多大なるご協力をいただき、無事に大会を実施することができました。昨年度、大会運営上実施できなかったクラスの競技も今年度は実施することができました。京都府内の選手数を見ると、現在、男女ともに全国中学校スケート大会（全中大会）につながるジュニア選手権の出場者が減少傾向にあります。今年度は、1年生にジュニア選手権の出場者がいなかったこと、全中大会で入賞を果たしてきた有力選手の卒業もあり、次年度以降の全中大会に出場できるレベルの選手数が落ち込む見込みです。特に男子では、1・2年生からの出場が無い状況でした。一方で、全中大会につながらない下級クラスの選手数は、例年通りのほぼ横ばいとなっています。

・京都府中学校総合体育大会

令和5年11月18日、アクアリーナ京都スケートリンク（メインリンク）にて府大会を開催し、男子1名、女子12名の計13名の選手が参加しました。

・全国中学校スケート大会

令和6年2月3日～2月6日に、「第44回全国中学校スケート大会」が長野県ビッグハットで開催され、京都府より男子1名、女子4名が出場しました。昨年度入賞し、今年度も入賞が期待されていた村上選手は、腰の骨折により直前で出場を棄権。山田選手は、予選のショートプログラムで3回転+3回転のコンビネーションジャンプが回転不足で着氷するもそのほかの3回転、2回転半のジャンプをミスなく成功させ、予選3位通過。決勝のフリースケーティングでは、中盤の3回転+2回転のコンビネーションジャンプで回転不足の着氷や踏み切り時のミスがあったものの、高難度のジャンプやスピンを披露しました。終盤に2回転半のジャンプもミスなく成功させ、4位入賞という素晴らしい結果を残しました。他の選手も、慣れない氷に苦戦しながらも、最善の滑りを披露しました。

男子

石原 弘斗（桂川中3年） 総合 30 位 45.82 pts

女子

山田 恵（広野中2年） 総合 12 位（SP:17位、FS:10位） 169.82pts

柚木 心春（広野中2年） 総合 47 位 36.76pts

松田 莉奈（立命館中3年） 総合 61 位 32.11pts

小牧 由葦（西京附属中3年） 総合 65 位 30.99pts